



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL <http://www.astellas.com/jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 畑中 好彦
 問合せ先責任者（役職名） 広報部長 （氏名） 白井 政明 (TEL) 03(3244)3201
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期純利益		親会社の所有者に帰属する四半期純利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	343,659	16.4	61,911	22.4	67,664	34.6	44,622	24.4	44,622	24.4	71,834	219.0
27年3月期第1四半期	295,157	9.5	50,565	91.5	50,278	90.6	35,861	80.9	35,861	80.9	22,519	△59.8

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	20.38	20.35
27年3月期第1四半期	16.15	16.13

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,780,003	1,333,796	1,333,796	74.9
27年3月期	1,793,578	1,317,916	1,317,916	73.5

2. 配当の状況

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
28年3月期	—				
28年3月期（予想）		16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,362,000	9.2	238,000	28.2	239,000	26.0	170,000	25.1	170,000	25.1	78.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 連結業績予想の「基本的1株当たり当期純利益」は、平成27年5月28日から7月10日までに実施した自己株式の取得を反映しています。

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		コア営業利益		コア当期純利益		基本的1株当たり コア当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,362,000	9.2	238,000	9.9	170,000	10.9	78.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料P.2に記載しています。

(注) 連結業績予想の「基本的1株当たりコア当期純利益」は、平成27年5月28日から7月10日までに実施した自己株式の取得を反映していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期第1四半期	2,221,823,175株	27年3月期	2,259,823,175株
28年3月期第1四半期	40,290,273株	27年3月期	66,681,660株
28年3月期第1四半期	2,189,293,326株	27年3月期第1四半期	2,220,453,837株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.8をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信とあわせて開示しています。

また、平成27年7月31日（金）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	9
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	9
3. 要約四半期連結財務諸表	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 継続企業の前提に関する注記	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^注）>

当第1四半期（2015年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は、以下の通り、売上高は増収、コア営業利益は増益、コア四半期純利益は減益となりました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前年第1四半期 (2015年3月期)	当第1四半期 (2016年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	295,157	343,659	48,502 (16.4%)
コア営業利益	65,976	67,820	1,843 (2.8%)
コア四半期純利益	46,409	45,031	△1,378 (△3.0%)
基本的1株当たり コア四半期純利益（円）	20.90	20.57	△0.33 (△1.6%)

<研究開発費>

（単位：百万円）

	前年第1四半期	当第1四半期	増減
研究開発費	47,643	55,980	8,337

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用などのほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料の21ページに記載しています。

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、売上高においては173億円の増収、コア営業利益においては18億円の増益の影響がありました。

期中平均レート	前年第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	102	121	19円安
ユーロ/円	140	134	6円高

期首・期末の変動	前年第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	2円高	2円安
ユーロ/円	3円高	7円安

【売上高】

連結売上高は3,437億円（前年同期比16.4%増）となりました。

- ・ 新製品の前立腺がん治療剤 **XTANDI** / **イクスタンジ**のほか、**ベシケア**と**ベタニス** / **ミラベトリック** / **ベットミガ**を合わせた過活動膀胱治療剤の売上が拡大しました。このほか、免疫抑制剤**プログラフィ**などの売上が増加しました。

（地域別売上高の状況）

※地域別売上高については売上元会社の所在地に基づき集計しています。

◇ 日本

日本の売上高は1,256億円（同11.3%増）となりました。このうち、日本市場での売上高は1,222億円（同12.1%増）となりました。

- ・ **ベシケア**、**ベタニス**、消炎鎮痛剤**セレコックス**、成人気管支喘息治療剤**シムビコート**、高血圧症治療剤**ミカルディス**、骨粗鬆症治療剤**ボノテオ**などの売上が拡大しました。
- ・ また、**イクスタンジ**などの新製品が増収に寄与しました。
- ・ 一方、高コレステロール血症治療剤**リピートル**や消化性潰瘍・胃炎治療剤**ガスター**などの売上は、後発医薬品の影響などにより減少しました。

◇ 米州

米州の売上高は1,148億円（同36.9%増）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は946百万ドル（同15.2%増）となりました。

- ・ **XTANDI**のほか、**ベシケア**と**ミラベトリック**を合わせた過活動膀胱治療剤の売上が拡大しました。
- ・ 一方、**プログラフィ**の売上や抗がん剤**タルセバ**の収入などが減少しました。

◇ EMEA*

EMEAの売上高は817億円（同0.8%減）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は609百万ユーロ（同3.5%増）となりました。

- ・ XTANDI、ベシケアとベットミガを合わせた過活動膀胱治療剤のほか、プログラフなどの売上が伸長しました。

*EMEA：欧州・中東・アフリカ

◇ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアの売上高は215億円（同34.0%増）となりました。

- ・ プログラフ、ハルナールなどの売上が拡大し、増収となりました。
- ・ また、XTANDIが増収に寄与しました。

【コア営業利益／コア四半期純利益】

- ・ 売上高が増加したことから、売上総利益は前年同期に比べ15.7%増加し、2,536億円となりました。なお、売上原価率は、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響などにより前年同期に比べ0.5ポイント上昇し、26.2%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、XTANDIの米国での共同販促費用の増加に加え、為替の影響などもあり、1,187億円（同22.4%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、開発プロジェクトの進展に伴う費用の増加に加え、為替の影響などもあり、560億円（同17.5%増）となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期に比べ0.1ポイント上昇し、16.3%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、109億円（同22.8%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は678億円（同2.8%増）となりました。

欧米販売子会社の在庫に係る未実現利益の一時的な変動による税効果の影響などにより、法人税等の負担率が前年同期に比べ上昇したことから、コア四半期純利益は450億円（同3.0%減）となりました。また、基本的1株当たりコア四半期純利益は20.57円（同1.6%減）となりました。

<連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は、以下の通り、売上高は増収、営業利益、税引前四半期利益、四半期純利益は増益となりました。

コアベースの実績では除外される、有形固定資産の減損損失など72億円を「その他の費用」に、また、売却可能金融資産の売却益55億円を「金融収益」に計上しました。なお、前年同期の「その他の費用」、売却可能金融資産の売却益はそれぞれ181億円、9億円でした。

[連結業績（フルベース）]

(単位：百万円)

	前年第1四半期 (2015年3月期)	当第1四半期 (2016年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	295,157	343,659	48,502 (16.4%)
営業利益	50,565	61,911	11,346 (22.4%)
税引前四半期利益	50,278	67,664	17,386 (34.6%)
四半期純利益	35,861	44,622	8,760 (24.4%)
基本的1株当たり 四半期純利益(円)	16.15	20.38	4.23 (26.2%)
四半期包括利益	22,519	71,834	49,315 (219.0%)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第1四半期末(2015年6月30日時点)における総資産は1兆7,800億円(前期末比136億円減)となりました。

<非流動資産>当第1四半期末:8,248億円(同28億円減)

・その他の無形資産は2,882億円(同76億円減)となりました。

<流動資産>当第1四半期末:9,552億円(同107億円減)

・現金及び現金同等物は3,715億円(同249億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆3,338億円(同159億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は74.9%となりました。

・四半期純利益446億円を計上した一方で、剰余金の配当351億円に加え、自己株式の取得209億円を実施しました。

・2015年5月29日に自己株式の消却496億円(3,800万株)を実施しました。

・なお、在外営業活動体の換算差額が資本の増加方向に288億円変動しました。

【負債】

負債の合計は、4,462億円(同295億円減)となりました。

<非流動負債>当第1四半期末:550億円(同2億円増)

<流動負債>当第1四半期末:3,912億円(同297億円減)

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、296億円（前年同期比310億円減）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額が259億円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△82億円（同39億円支出減）となりました。

- ・ 有形固定資産の取得による支出92億円、無形資産の取得による支出59億円の一方で、売却可能金融資産の売却による収入79億円などがありました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△562億円（同52億円支出減）となりました。

- ・ 配当金の支払額は351億円となりました。また、自己株式の取得による支出209億円などがありました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,715億円（前期末比249億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。

当期（2016年3月期）の通期連結業績予想は以下の通りです。2015年5月に公表しました業績予想から大きな変動が見込まれていないため、これを据え置き修正していません。

[通期連結業績予想（コアベース）]

(単位：百万円、端数四捨五入)

	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,247,259	1,362,000	114,741 (9.2%)
コア営業利益	216,500	238,000	21,500 (9.9%)
コア当期純利益	153,244	170,000	16,756 (10.9%)
基本的1株当たり コア当期純利益(円)	69.37	78.08	8.71 (12.6%)

[通期連結業績予想（フルベース）]

(単位：百万円、端数四捨五入)

	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,247,259	1,362,000	114,741 (9.2%)
営業利益	185,663	238,000	52,337 (28.2%)
税引前利益	189,683	239,000	49,317 (26.0%)
当期純利益	135,856	170,000	34,144 (25.1%)
基本的1株当たり 当期純利益(円)	61.50	78.08	16.58 (27.0%)

(注) 基本的1株当たりコア当期純利益及び基本的1株当たり当期純利益の予想は、2015年5月28日から2015年7月10日までに実施した自己株式の取得を反映しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の新たに適用する基準を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しています。

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、以下の基準書を適用しています。この基準書の適用が、当社グループの本要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第19号	従業員給付	従業員又は第三者による拠出の会計処理の明確化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上高	295,157	343,659
売上原価	△75,983	△90,079
売上総利益	219,174	253,581
販売費及び一般管理費	△96,908	△118,662
研究開発費	△47,643	△55,980
無形資産償却費	△8,864	△10,882
持分法による損益	218	△236
その他の収益	2,700	1,262
その他の費用	△18,111	△7,171
営業利益	50,565	61,911
金融収益	1,825	6,029
金融費用	△2,112	△277
税引前四半期利益	50,278	67,664
法人所得税	△14,417	△23,042
四半期純利益	35,861	44,622
四半期純利益の帰属		
親会社の所有者	35,861	44,622
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	16.15	20.38
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	16.13	20.35

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期純利益	35,861	44,622
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度に係る再測定	537	1,254
小計	537	1,254
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△12,792	28,762
売却可能金融資産の公正価値の変動	△1,087	△2,803
小計	△13,879	25,959
税引後その他の包括利益合計	△13,342	27,213
四半期包括利益合計	22,519	71,834
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,519	71,834

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	202,869	205,520
のれん	136,337	138,924
その他の無形資産	295,844	288,245
売上債権及びその他の債権	15,588	18,732
持分法で会計処理されている投資	2,007	2,228
繰延税金資産	51,199	51,972
その他の金融資産	110,091	103,860
その他の非流動資産	13,685	15,291
非流動資産合計	827,621	824,772
流動資産		
棚卸資産	156,907	157,687
売上債権及びその他の債権	332,923	360,568
未収法人所得税	6,918	3,672
その他の金融資産	59,908	44,135
その他の流動資産	12,732	17,261
現金及び現金同等物	396,430	371,537
小計	965,819	954,861
売却目的で保有する資産	139	370
流動資産合計	965,958	955,231
資産合計	1,793,578	1,780,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	176,822	176,822
自己株式	△86,997	△58,281
利益剰余金	905,083	866,255
その他の資本の構成要素	220,007	246,000
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,317,916	1,333,796
資本合計	1,317,916	1,333,796
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	90	925
繰延税金負債	38	—
退職給付に係る負債	30,059	30,040
引当金	4,817	6,446
その他の金融負債	626	805
その他の非流動負債	19,142	16,766
非流動負債合計	54,771	54,982
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	226,602	199,513
未払法人所得税	14,124	7,069
引当金	85,423	88,877
その他の金融負債	1,339	2,860
その他の流動負債	93,403	92,906
流動負債合計	420,890	391,225
負債合計	475,662	446,207
資本及び負債合計	1,793,578	1,780,003

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2014年4月1日残高	103,001	176,822	△54,535	864,830	2,110	147,660
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	35,861	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△12,792
四半期包括利益合計	—	—	—	35,861	—	△12,792
資本で直接認識された所有者との取引						
自己株式の取得	—	—	△30,007	—	—	—
自己株式の処分	—	—	29	△5	△15	—
自己株式の消却	—	—	25,398	△25,398	—	—
配当金	—	—	—	△31,236	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	89	—
振替	—	—	—	537	—	—
資本で直接認識された所有者との取引合計	—	—	△4,581	△56,102	74	—
2014年6月30日残高	103,001	176,822	△59,115	844,590	2,184	134,868

2015年4月1日残高	103,001	176,822	△86,997	905,083	2,241	177,306
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	44,622	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	28,762
四半期包括利益合計	—	—	—	44,622	—	28,762
資本で直接認識された所有者との取引						
自己株式の取得	—	—	△20,937	—	—	—
自己株式の処分	—	—	76	△37	△39	—
自己株式の消却	—	—	49,577	△49,577	—	—
配当金	—	—	—	△35,090	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	73	—
振替	—	—	—	1,254	—	—
資本で直接認識された所有者との取引合計	—	—	28,716	△83,450	34	—
2015年6月30日残高	103,001	176,822	△58,281	866,255	2,274	206,068

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	売却可能金融 資産の公正価 値の変動	確定給付制度 に係る再測定	合計		
2014年4月1日残高	28,588	—	178,359	1,268,476	1,268,476
四半期包括利益					
四半期純利益	—	—	—	35,861	35,861
その他の包括利益	△1,087	537	△13,342	△13,342	△13,342
四半期包括利益合計	△1,087	537	△13,342	22,519	22,519
資本で直接認識された所有者 との取引					
自己株式の取得	—	—	—	△30,007	△30,007
自己株式の処分	—	—	△15	8	8
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△31,236	△31,236
株式報酬取引	—	—	89	89	89
振替	—	△537	△537	—	—
資本で直接認識された所有者 との取引合計	—	△537	△464	△61,146	△61,146
2014年6月30日残高	27,502	—	164,553	1,229,850	1,229,850

2015年4月1日残高	40,461	—	220,007	1,317,916	1,317,916
四半期包括利益					
四半期純利益	—	—	—	44,622	44,622
その他の包括利益	△2,803	1,254	27,213	27,213	27,213
四半期包括利益合計	△2,803	1,254	27,213	71,834	71,834
資本で直接認識された所有者 との取引					
自己株式の取得	—	—	—	△20,937	△20,937
自己株式の処分	—	—	△39	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△35,090	△35,090
株式報酬取引	—	—	73	73	73
振替	—	△1,254	△1,254	—	—
資本で直接認識された所有者 との取引合計	—	△1,254	△1,220	△55,954	△55,954
2015年6月30日残高	37,658	—	246,000	1,333,796	1,333,796

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	50,278	67,664
減価償却費及び無形資産償却費	15,453	17,374
減損損失及びその戻入益	8,076	6,357
金融収益及び金融費用	287	△5,752
棚卸資産の増減額	△11,715	4,174
売上債権及びその他の債権の増減額	4,551	△23,149
仕入債務及びその他の債務の増減額	4,575	△31,544
その他の調整	11,542	20,378
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	83,048	55,501
法人所得税の支払額	△22,396	△25,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,653	29,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,348	△9,236
有形固定資産の売却による収入	3,327	342
無形資産の取得による支出	△11,519	△5,924
売却可能金融資産の取得による支出	△34	△8
売却可能金融資産の売却による収入	1,547	7,922
利息及び配当金の受取額	1,211	576
その他	△1,331	△1,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,145	△8,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△30,007	△20,937
親会社の所有者への配当金の支払額	△31,236	△35,090
その他	△189	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,432	△56,223
為替レート変動による影響	△5,435	9,937
現金及び現金同等物の純増減額	△18,359	△24,893
現金及び現金同等物の期首残高	391,374	396,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	373,015	371,537

- (6) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

2016年3月期第1四半期決算[IFRS] 補足資料

【業績情報】

1. 連結損益の詳細(フルベース)
2. 連結損益の詳細(コアベース)
3. 為替レートの状況
4. フルベースからコアベースへの調整表
5. 地域別売上高
6. 償却費の状況
7. 主要製品の売上高
8. 連結財政状態計算書

【開発品情報】

新薬開発状況

(億円)

2. 連結損益の詳細(コアベース)

	15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
売上高	2,952	3,437	485	16.4%
売上原価	760	901	141	18.6%
(売上高比率)	25.7%	26.2%		
売上総利益	2,192	2,536	344	15.7%
販売費・一般管理費	969	1,187	218	22.4%
(売上高比率)	32.8%	34.5%		
内、広告費・販売促進費	282	416	135	47.7%
内、人件費	424	451	27	6.3%
内、その他	263	320	56	21.4%
研究開発費	476	560	83	17.5%
(売上高比率)	16.1%	16.3%		
無形資産償却費	89	109	20	22.8%
持分法による損益	2	-2	-5	-208.6%
営業利益	660	678	18	2.8%
(売上高比率)	22.4%	19.7%		
金融収益	10	6	-4	-43.2%
金融費用	1	1	-0	-20.5%
税引前四半期利益	668	683	14	2.2%
(売上高比率)	22.6%	19.9%		
法人所得税	204	233	28	13.8%
四半期純利益	464	450	-14	-3.0%
(売上高比率)	15.7%	13.1%		

3. 為替レートの状況

	15/3期 1Q	16/3期 1Q	15/3 期末	15/6 期末
USD/円	102	121	120	122
EUR/円	140	134	130	137

* 為替レートの変動の影響により、当第1四半期において売上高で173億円の増収、コア営業利益で18億円の増益の影響がありました。

16/3期 通期予想
120
125

4. フルベースからコアベースへの調整表

(億円)

科目	15/3期 1Q		16/3期 1Q	
	フルベース	調整	コアベース	調整
売上高	2,952	-	2,952	-
売上原価	760	-	760	-
売上総利益	2,192	-	2,192	-
販売費及び一般管理費	969	-	969	-
研究開発費	476	-	476	-
無形資産償却費	89	-	89	-
持分法による損益	2	-	2	-
その他の収益 *1	27	-27	-	-13
その他の費用 *1	181	-181	-	-72
営業利益	506	154	660	59
金融収益 *2	18	-9	10	-55
金融費用 *2	21	-20	1	-2
税引前四半期利益	503	166	668	6
法人所得税	144	60	204	2
四半期純利益	359	105	464	4

*1: コア実績では「その他の収益」及び「その他の費用」は除外されています。
「その他の収益」及び「その他の費用」には、有形固定資産の除売却に伴う損益、その他の無形資産の減損損失、リストラクチャリング費用のほか、
為替差損益などが含まれています。

*2: 「金融収益」と「金融費用」の内、売却可能金融資産の売却に伴う損益や減損損失は、調整項目としてコア実績では除外されています。

5. 地域別売上高

	(億円)			
	15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
外部売上高	2,952	3,437	485	16.4%
日本 (構成比)	1,128 38.2%	1,256 36.6%	128	11.3%
米州 (構成比)	838 28.4%	1,148 33.4%	309	36.9%
EMEA (構成比)	824 27.9%	817 23.8%	-7	-0.8%
アジア・オセアニア (構成比)	161 5.4%	215 6.3%	55	34.0%

注1: 売上元会社の所在地に基づき集計。

注2: EMEAは欧州・中東・アフリカを指す。

6. 償却費の状況

	(億円)			
	15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
減価償却費(有形固定資産)				
連結	53	50	-2	-4.5%
償却費(無形資産)*				
連結	102	124	22	21.1%

* 償却費(無形資産)には、ソフトウェア等の償却費が含まれています。

7. 主要製品の売上高

1) グローバル製品

(億円)

	15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
XTANDI/イクスタンジ	234	591	357	152.8%
米国	147	362	215	146.7%
米国以外	87	228	142	163.2%
内、日本	15	68	53	346.5%
内、米州(米国以外)	4	10	6	151.6%
内、EMEA	67	146	79	117.3%
内、アジア・オセアニア	0	4	4	-
エリガード	51	44	-6	-12.3%
EMEA	51	44	-7	-12.9%
アジア・オセアニア	0	0	0	349.7%
ベシケア	330	354	24	7.1%
日本	53	68	16	29.6%
米州	155	171	15	9.9%
EMEA	110	102	-8	-7.2%
アジア・オセアニア	12	12	1	7.6%
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	107	181	74	69.1%
日本	27	49	22	81.0%
米州	62	98	37	59.7%
EMEA	18	33	15	79.7%
アジア・オセアニア	0	1	1	447.7%
ハルナール	137	142	5	3.4%
自社販売計	125	133	8	6.2%
日本	39	34	-5	-11.6%
EMEA	45	47	2	3.7%
アジア・オセアニア	40	50	10	25.5%
ハルク・ロイヤリティ等	12	9	-3	-25.4%
プログラフ	470	504	33	7.1%
自社販売計	462	499	37	8.0%
日本(グラセプター含む)	114	127	13	11.0%
米州	88	84	-4	-4.5%
EMEA	186	196	10	5.2%
内、アドバグラフ	66	75	9	13.8%
アジア・オセアニア	73	92	19	25.7%
輸出外部売上	9	5	-4	-41.3%
ファンガード/マイカミン	89	103	14	16.3%
日本	25	29	4	16.5%
米州	28	33	4	15.5%
EMEA	27	28	2	6.5%
アジア・オセアニア	9	13	4	49.2%
プロトピック	60	47	-14	-22.5%
米州	31	15	-16	-51.7%
EMEA	21	18	-3	-13.4%
アジア・オセアニア	8	13	5	66.7%
16/3期 通期予想	2,294			67.2%
	1,416			65.3%
	878			70.5%
	230			54.7%
	42			56.1%
	588			75.8%
	19			212.8%
	181			-4.6%
	179			-5.5%
	2			256.0%
	1,329			-1.7%
	264			3.2%
	638			3.9%
	360			-14.9%
	63			18.1%
	793			49.1%
	230			55.5%
	408			46.4%
	148			44.0%
	6			255.8%
	537			-4.1%
	495			-4.6%
	129			-14.2%
	147			-18.0%
	212			16.2%
	42			1.4%
	1,926			-1.1%
	1,901			-0.4%
	499			3.7%
	324			-2.1%
	686			-11.7%
	392			22.5%
	25			-33.9%
	406			4.6%
	122			3.5%
	123			-0.9%
	99			-3.0%
	62			40.6%
	137			-36.9%
	26			-75.1%
	66			-15.4%
	43			25.4%

注1:個別製品の売上高のうち、日本の売上高の開示は仕切価ベース。

注2:EMEAは欧州・中東・アフリカを指す。

2) 日本の主要製品

(億円)

16/3期 通期予想	増減率
230	54.7%
264	3.2%
230	55.5%
129	-14.2%
499	3.7%
122	3.5%

15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
15	68	53	346.5%
53	68	16	29.6%
27	49	22	81.0%
39	34	-5	-11.6%
114	127	13	11.0%
25	29	4	16.5%

1,052	9.9%
496	18.9%
381	15.6%
144	11.1%
104	0.4%
424	9.2%
64	8.1%
22	46.1%
42	24.9%
75	49.1%
110	167.9%
306	-16.5%
181	-6.4%
151	-16.3%
106	-15.5%
5,070	5.2%

15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
233	248	15	6.3%
27	27	-1	-3.0%
57	65	8	14.5%
84	118	35	41.4%
62	90	28	44.2%
26	37	10	39.8%
23	28	5	20.9%
53	66	13	24.6%
15	15	1	6.5%
3	4	1	23.2%
8	9	2	26.1%
11	16	5	40.1%
25	20	-5	-18.2%
96	83	-13	-13.1%
48	47	-2	-3.6%
48	39	-8	-17.4%
34	30	-5	-13.4%
1,090	1,222	132	12.1%

注:売上高の開示は仕切価ベース。

*2015年4月1日付で、カデュエットをファイザー株式会社販売移管。前期実績はカデュエットを除く売上。

3) 海外の主要製品

(億円)

16/3期 通期予想	増減率
743	12.0%
97	7.9%

15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
166	208	42	25.1%
165	208	43	26.2%
19	28	9	47.7%
136	131	-4	-3.2%
96	97	1	0.5%
39	34	-5	-12.3%
4	5	1	16.3%
5	6	2	34.7%

※アデノスキャンとレキスキャンの合算
注: EMEAは欧州・中東・アフリカを指す。

4) 米州・EMEAの売上高の状況<現地通貨>

単位:MS

	15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
米州				
売上高				
XTANDI	821	946	125	15.2%
米州	148	307	159	107.8%
米州(米国以外)	144	298	155	107.6%
タルセバ	4	9	5	111.8%
米国	133	108	-25	-18.5%
米国以外	94	80	-14	-15.4%
ベシケア	38	28	-10	-26.1%
ミラベトリック	152	141	-11	-7.5%
プログラフ	60	81	21	34.4%
スキャン※	86	69	-17	-19.6%
内、レキスキャン	163	171	9	5.3%
マイカミン	161	171	10	6.2%
アンピソーム	28	27	-1	-2.8%
プロトビック	19	23	5	24.3%
	31	12	-18	-59.4%

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

単位:ME

	15/3期 1Q	16/3期 1Q	増減	増減率
EMEA				
売上高				
XTANDI	589	609	21	3.5%
エリガード	48	109	61	126.9%
ベシケア	36	33	-3	-9.1%
ベツミガ	78	76	-2	-3.1%
ハルナール	13	25	12	87.7%
自販 計	41	42	1	1.8%
内、カプセル	32	35	3	8.2%
内、OCAS	16	18	2	14.3%
ハルクロイヤリテイ	16	17	0	2.4%
プログラフ	9	7	-2	-22.1%
自販 計	139	150	11	7.6%
内、アドバグラフ	133	146	13	9.8%
輸出外部売上	47	56	9	18.8%
マイカミン	6	4	-2	-38.8%
プロトビック	19	21	2	11.2%
キューテンザ	15	14	-1	-9.5%
ディファイリア	3	4	1	21.5%
	3	5	1	40.7%

注: EMEAは欧州・中東・アフリカを指す。

	16/3期 通期予想	増減率
	3,665	11.6%
	1,215	51.2%
	1,180	51.4%
	35	44.9%
	532	-4.8%
	340	34.1%
	270	-10.3%
	619	2.6%
	102	-9.2%
	81	-1.1%
	21	-77.2%

	16/3期 通期予想	増減率
	2,475	9.6%
	470	95.2%
	143	4.9%
	288	-5.5%
	119	59.9%
	151	-5.0%
	118	-9.0%
	60	-4.7%
	58	-13.1%
	33	12.5%
	569	-3.1%
	549	-2.0%
	20	-26.6%
	80	7.7%
	53	-6.1%

8. 連結財政状態計算書

(億円)

科目	2015年3月31日		2015年6月30日		増減
	金額	金額	金額	金額	
資産合計	17,936	17,800	-136		
非流動資産合計	8,276	8,248	-28		
有形固定資産	2,029	2,055	27		
のれん	1,363	1,389	26		
その他の無形資産	2,958	2,882	-76		
売上債権及びその他の債権	156	187	31		
持分法で会計処理されている投資	20	22	2		
繰延税金資産	512	520	8		
その他の金融資産	1,101	1,039	-62		
その他の非流動資産	137	153	16		
流動資産合計	9,660	9,552	-107		
棚卸資産	1,569	1,577	8		
売上債権及びその他の債権	3,329	3,606	276		
未収法人所得税	69	37	-32		
その他の金融資産	599	441	-158		
その他の流動資産	127	173	45		
現金及び現金同等物	3,964	3,715	-249		
売却目的で保有する資産	1	4	2		

(億円)

科目	2015年3月31日		2015年6月30日		増減
	金額		金額		
資本及び負債合計	17,936	17,800	17,800	-136	
資本合計	13,179	13,338	13,338	159	
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,179	13,338	13,338	159	
資本金	1,030	1,030	1,030	-	
資本剰余金	1,768	1,768	1,768	-	
自己株式	-870	-583	-583	287	
利益剰余金	9,051	8,663	8,663	-388	
その他の資本の構成要素	2,200	2,460	2,460	260	
負債合計	4,757	4,462	4,462	-295	
非流動負債合計	548	550	550	2	
仕入債務及びその他の債務	1	9	9	8	
繰延税金負債	0	-	-	-0	
退職給付に係る負債	301	300	300	-0	
引当金	48	64	64	16	
その他の金融負債	6	8	8	2	
その他の非流動負債	191	168	168	-24	
流動負債合計	4,209	3,912	3,912	-297	
仕入債務及びその他の債務	2,266	1,995	1,995	-271	
未払法人所得税	141	71	71	-71	
引当金	854	889	889	35	
その他の金融負債	13	29	29	15	
その他の流動負債	934	929	929	-5	

前回の決算発表時(2015年5月11日)からの変更箇所を下線

1. グローバル開発品

(1) 第Ⅲ相～第Ⅱ相(1/2)

*共同研究により創出された化合物を含む(以下同様)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社*/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	非転移性去勢抵抗性 前立腺がん、 非転移性生化学的再発 前立腺がん	米国/欧州/アジア P-III	経口	Medivation	効能追加
		乳がん	米国/欧州 P- II			効能追加
		肝細胞がん	米国/欧州 P- II			効能追加
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガロウイルス DNAワクチン	造血細胞移植時の サイトメガロウイルス感染抑制	米国/欧州/日本 P-III	注射	Vical	
		臓器移植時の サイトメガロウイルス感染抑制	米国/欧州 P- II			
YM905 ソラフェニン	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱と 過活動膀胱	米国/欧州 P-III	経口	自社	効能追加 (小児)
EB178 ソラフェニン/ ミラベグロン	ソラフェニンと ミラベグロンの 併用療法	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	米国/欧州/アジア P-III	経口	自社	
フィダキマイシン	大環状抗菌剤	感染性腸炎 (適応菌種： クロストリジウム・デファイシル)	日本 P-III	経口	Merck	効能追加 (小児)
		小児における クロストリジウム・ デファイシル感染症	欧州 P-III			
ASP015K	JAK阻害剤	関節リウマチ	日本 P-III 米国/欧州 P- II	経口	自社	
ASP1517 (FG-4592) ロキサデュスタット	HIF安定化剤	慢性腎疾患（保存期及び 透析期）に伴う貧血	欧州 P-III 日本 P- II	経口	FibroGen	
ASP2215	FLT3/AXL阻害剤	急性骨髄性白血病	米国/欧州/ 日本/アジア P-III	経口	自社	
		非小細胞肺癌	米国/ 日本/アジア P- I			

(1) 第Ⅲ相～第Ⅱ相(2/2)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	FibroGen	
ASKP1240	抗CD40抗体	臓器移植における 拒絶反応の抑制	米国 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	協和発酵 キリン	
ASP1707	GnRH受容体 アンタゴニスト	子宮内膜症	欧州/日本 P-Ⅱ	経口	自社	
		前立腺がん	欧州 P-Ⅰ			
ASP8477	中枢感作抑制	神経障害性疼痛	欧州 P-Ⅱ	経口	自社	
ASP8232	VAP-1阻害剤	糖尿病性腎症	欧州 P-Ⅱ	経口	自社	
		糖尿病黄斑浮腫	米国 P-Ⅱ			
ASP8273	変異選択的 非可逆 EGFR阻害剤	非小細胞肺がん	日本/アジア P-Ⅱ 米国 P-Ⅰ	経口	自社	
ASP3662	11beta-HSD1 阻害剤	糖尿病性神経障害に伴う疼痛	米国 P-Ⅱ	経口	自社	
		アルツハイマー病	米国 P-Ⅰ			
CK-2127107	速筋トロポニン 活性化剤	脊髄性筋萎縮症	米国 P-Ⅱ	経口	Cytokinetics	

2. ローカル開発品: 日本

(1) 承認

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
セルトリス [®] マフ ペゴール	シムジア (2015年5月)	PEG化 抗TNF- α 抗体	関節リウマチ (関節の構造的 損傷の防止を 含む)*	日本	注射	UCB	効能追加
YM060 ラモセトロン	イリホー (2015年5月)	5-HT ₃ 受容体 拮抗剤	下痢型 過敏性腸症候群**	日本	経口	自社	効能追加

* 関節の構造的損傷の進展リスクが高いと推測される患者に対し、抗リウマチ薬による治療歴がない場合でも投与が可能になった。

**女性における下痢型過敏性腸症候群に対する投与が可能になった。

(2) 申請中

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP7374	インフルエンザ [®] ワクチン	季節性インフルエンザ [®] の予防	日本 申請 (2014年5月)	注射	UMNファーマ	
ASP1585 (AMG 223) ビキキサロマー	アミン機能性 ホリマー	保存期慢性腎臓病患者に おける高リン血症	日本 申請 (2015年3月)	経口	Amgen	効能追加
AMG 145 エボロクマブ	PCSK9 阻害剤	高コレステロール血症	日本 申請 (2015年3月)	注射	Amgen [アステラス・ アムジェンと 共同開発]	

(3) 第三相～第二相

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
FK949E ケチアピン	セロトニン・ドパミン 拮抗剤	双極性障害における うつ状態	日本 P-III	経口	AstraZeneca	効能追加 剤形追加
ASP3550 デガレリクス	GnRH受容体 アンタゴニスト	前立腺がん (3か月製剤)	日本 P-III	注射	Ferring	剤形追加
AMG 785 romosozumab	抗スクロステイン抗体	骨粗鬆症	日本 P-III	注射	Amgen [アステラス・ アムジェンと 共同開発]	
ASP0456 リカドット	C型グルタミン酸 シナプス受容体 作動薬	便秘型過敏性腸症候群	日本 P-III	経口	Ironwood	
		慢性便秘	日本 P-II			
ASP1585 (AMG 223) ビキソマー	アミン機能性 ホリマー	透析中の慢性腎臓病 患者における高リン血症 (顆粒製剤)	日本 生物学的 同等性試験	経口	Amgen	剤形追加
ASP7373	インフルエンザワクチン	インフルエンザ (H5N1)の予防	日本 P-II	注射	UMN7アーマ	
ASP1941 イブラグリフロジン	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	日本 P-II	経口	自社 [寿製薬と 共同開発]	効能追加

3. ローカル開発品: 欧州

(1) 申請中

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
NGX-4010 カサイン	TRPV1作動薬	糖尿病性神経障害に 伴う疼痛	欧州 申請 (2014年12月)	貼付	HealthCare Royalty Partners	効能追加

4. ローカル開発品: 米国

(1) 第三相～第二相

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
isavuconazonium sulfate	アゾール系 抗真菌剤	カンジダ血症/ 侵襲性カンジダ症	米国 P-III	注射 経口	Basilea	効能追加

5. 第 I 相

開発コード 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
AGS-16C3F	がん (ADC技術活用)	注射	自社 (ADC技術をSeattle Geneticsから導入)
ASG-22ME	がん (ADC技術活用)	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASG-15ME	がん (ADC技術活用)	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASP5878	がん	経口	自社
ASP7962	変形性関節症、慢性腰痛	経口	自社
YM178 ミラベグロン	小児の神経因性膀胱と 過活動膀胱	経口	自社
AGS67E	がん (ADC技術活用)	注射	自社 (ADC技術をSeattle Geneticsから導入)
ASP5633	腹圧性尿失禁	経口	自社
ASP2205	腹圧性尿失禁	経口	自社
ASP5094	関節リウマチ	注射	自社
ASP6858	慢性腎疾患	経口	自社
AMG 103 blinatumomab	急性リンパ性白血病	注射	Amgen [アステラス・アムジェンと共同開発]
ASP4132	がん	経口	自社
ASP4345	統合失調症に伴う認知機能障害	経口	自社
ASP6282	低活動膀胱	経口	自社
ASP4070 (JRC2-LAMP-vax)	スギ花粉症	注射	Immunomic Therapeutics

6. 開発中止品目

開発コード 一般名	対象疾患	開発段階 地域	理由
YM533 ペラゾロスタ ナトリウム	慢性腎不全 (<u>原発性糸球体疾患・ 腎硬化症</u>)	日本/アジア P-III	第IIb/III相試験において承認申請に 足りる結果が得られなかったため、 開発を中止した。

7. その他、前回の決算発表時(2015年5月11日)からの変更箇所

- ・米国において独占期間の延長が認められたタルセバ(エルロチニブ)に関する記載を削除した。
- ・米国において2015年4月に発売されたCRESEMBA(isavuconazonium sulfate)の侵襲性アスペルギルス症及び侵襲性ムーコル症の治療に関する記載を削除した。